

# 2023年度・第2回未来会議(全体会)議事録

鹿ノ台未来まちづくり会議(未来会議)会長 須都 紘  
副会長兼書記・広報 伊藤 智子

日時: 2023年5月21(日)13:30~15:10

場所: 西集会所

出席者(順不同、敬称略):

須都 紘(会長)、黒部 實(副会長)、伊藤 智子(副会長・書記・広報)、  
鎌田 卓(事務局長・会計)、平尾 英城、中世古 昭一、三室 哲哉、黒田 勝行、  
渡辺 昇、田口 信義、山田 修、山地 祐輔  
オブザーバー: 中尾節子  
欠席: 山田 熟、中川 浩光、蔵田 かほり

- 配布資料:
- ① 令和5年度第2回(5月度)未来会議(全体会&分科会)議題(案)
  - ② 鹿ノ台中央公園をもっと楽しむためのワークショップ DAY1プログラム
  - ③ 鹿ノ台中央公園ワークショップ Day1 皆さんから出されたアイデアや意見
  - ④ 令和5年度 鹿ノ台春まつり(仮称)実行委員会体制(案)V2
  - ⑤ 鹿ノ台自治会が直面する課題と持続性のある組織・活動を目指して
  - ⑥ 生駒市コミバス『たけまる号』鹿ノ台線 実証運行 乗車実績(人数)  
R5.4月度
  - ⑦ 生駒市コミバス『たけまる号』鹿ノ台線 実証運行実績 分析【令和5年4月度】
  - ⑧ 鹿ノ台コミバスニュース N0.8「コミバスに乗って 満開のユリを観に行こう！」

## 会長挨拶

・昨日は、子育て分科会主催で「中央公園をもっと楽しむためのワークショップ Day1」が行われた。市のみどり公園課から3名が来訪され、生駒市全体の公園の概況、「公園でできること・できないこと」、鹿ノ台中央公園の特長などについてお話し下さった。その後のグループワークでは、小学生を含む老若男女が活発な議論を行い、有意義な会となった。

・前回の未来会議全体会の後、有志で鹿ノ台の自治会が直面する課題について議論した。この問題は、自治連合会および単位自治会とも問題意識を共有していくことが重要であり、田口連合会長とも議論をした。今後、自治連合会においても議論していただき、対応につなげていきたい。

## 子育て分科会報告

## 鹿ノ台中央公園をもっと楽しむためのワークショップ Day1:

- ・昨日、3回シリーズのワークショップの第一回目を行った。参加人数は、一般参加者17名、スタッフ7名、みどり公園課3名の合計27名だった。
- ・この件では今年初頭に自治会および小中学校でアイデア募集を行っている。昨日は、まず趣旨と目的を説明し、その後、このアイデア募集の集計結果を共有した。さらに、市のみどり公園課から「公園をもっと楽しむために」というタイトルで①生駒市全体の公園の概況、②公園でできること・できないこと、③鹿ノ台中央公園の特長などについてお話ししていただいた。
- ・アイデア募集の段階では、ハード面(設備等)での希望と、ソフト面(イベント等)の両方の答えが出るような問い合わせを行った。しかし今回は、みどり公園課が、財政的に設備の新設は難しいというお話をして下さり、またグループワークでもその点について詳しく質問に答えて下さった。その結果、参加者の議論も、イベントの開催や公園利活用のためのツールの導入など、ソフト面にフォーカスしたものが増えた。

### ・参加者から発表されたイベントのアイデア:

- －傾斜地にブルーシートを敷いて即席のウォータースライダーを作つて遊ぶ。
- －ターザンロープを手作りし、1日だけ臨時設置して楽しむ、その他、組み立て遊具やエアートランポリンなどの臨時設置。
- －自宅からプールを持ち寄つてビニールプール大会、水鉄砲遊び。
- －防災キャンプ(テントを張り、消費期限の迫つた非常食をいただく)。
- －既存の納涼祭やオータムフェスタに加え、春に桜祭り、冬に人工雪を持ち込んでの雪まつりなど、春夏秋冬にそれぞれ祭りをする。
- －キッチンカーを毎月または3か月に一回など、定期的に誘致。
- －フリーマーケット、洋服や制服の交換会、野菜や作品のマルシェ。
- －セミの羽化(夜・明け方)の観察会、虫取りイベント(夜・昼)、寝袋で星空観察、ホットワインの会、青空赤ちゃん広場、むかし遊び、紙芝居や読み聞かせ、チアリングでお年寄りの話を聞く。
- －編み物・読書・ゲーム・麻雀など自宅でやつてることを公園でやる(常に公園に行けば何かやつていて参加できるよう状態を作りたい)。
- －大縄・なわとび大会、バドミントン大会。
- －BBQ・野外炊飯デー(申請すれば可能)。
- －フェンスで囲つたドッグラン、移動動物園、などなど。

### ・参加者から発表された公園利活用のためのアイデア:

- －自治連合会ホームページに GoogleCalendar(スケジュール管理アプリ)を導入し、中央公園や街区公園で行うイベント(規模を問わず)を主催する個人・組織が予定を書き込めるようにし、誰でも参加できるよう情報共有する。
- －中央公園を区分けし、区画ごとに利用予約が行えるようにする。
- －Free-WiFi を設置すれば、小中高生や大学生が家から出て、公園で調べ学習やゲーム、ネットサーフィンなどをするようになる。
- －鹿ノ台全体の公園の遊具などの情報を網羅した公園マップを作る。
- －小学生の授業の一環として木の名札を作つてもらう。

・その他、赤ちゃんのための遊具があれば引っ越してくる人が増える／藤棚周辺なら遊具設置しても邪魔にならない／木陰にベンチを設置して欲しい／夏季限

定で良いので噴水や水の流れを復活して欲しい／自動販売機とゴミ箱が欲しい／弱った桜の植替えをして欲しい／舗装の修繕／野菜・果物の移動販売を公園内で復活させてほしい、などの意見も出た。

・参加者の皆さんから活発に多様な意見・アイデアが出され、終始なごやかで楽しい雰囲気で話し合いが行われた。次回以降は、実現可能のこと、どうしても実現したいことに議論を絞っていき、最終的には実行するチームを作つて具現化を目指したい。

**意見：** 小学生や若いお母さんたちに交じって参加させてもらい、会議の進め方に衝撃を受けた。テニスボールをマイク替わりにして、持っている人だけが話をし、割り込み禁止、人の話をよく聞き、否定的なことを言わないというルールの下、斬新なアイデアが出ていた。未来会議のメンバーも次回以降に是非参加して体験してもらいたい。若い人、女性の意見を聞く良い機会になった。

**意見：** 公園のトイレが汚れていという話が出た。

**連合会長：** 以前にはトイレットペーパーが散乱していることもあったらしい。しかし昨年より専門業者さんに入ってもらって以降、そういう事案は一度を除いて起きておらず、清潔さを維持できていると思う。

**意見：** 自治会の意思決定は、自治会員→評議員→自治会長→連合というプロセスだが、この2か月間、若い女性からの意見が挙がったことが一度もなかった。しかし昨日のワークショップに参加して、女性の声、若い人の声を自治会でも拾い上げる必要があると感じた。公園のトイレの件も、そういう意見があるなら、検討課題にすべきではないか。

**意見：** いつの時点での話か確認しなかったので、確認してまた話をしたい。異常を見つけたら報告が来るようになっているのか。

**連合会長：** 業者さんからの事案報告はこれまで上がってないが、問題ないかどうか、こちらから確認する必要はあるだろう

**連合会長：** 市が始めた移動販売等導入支援事業を活用して公園に移動販売車などに来てもらうことが可能であることを、各自治会にも周知したいと思う。また、木に名札をつけることも、今はスマホで花や木の写真を撮ると名前を教えてくれるアプリがあるので、活用したら良いと思う。WiFi の導入については、ソーラー発電システムとバッテリー、カメラ、WiFi が一体化したポールを公園に設置できたらよいと思う。イベントカレンダーについては、いきいきホールにディスプレイを設けて月毎の行事を書き込むことを以前から検討している。

**意見：** 自治連合会のお考えや計画について、できれば次回のワークショップで共有していただけないだろうか。要望したい。

**情報：** 市のみどり公園課からの通告で、公園内の南側のニセアカシア10本が腐りかかっており倒木の恐れがあるので、伐採するとのことである。

**質問：** ワークショップで決まったことは自治連合会に諮る必要があるか。

**連合会長：** 内容による。お金がかかりそうなものはもちろんだが、お金がかからなくても大きな影響がありそうなものについては自治連合会に諮る必要がある。

**意見：**小規模な花見やシェアリング(折りたたみ椅子を各自で持ち寄り楽しむ会)などは、すでに個々で実践されている。ワークショップ全体について自治連合会に報告を上げるが、ワークショップで出会ったメンバーがこうした小さな集いを自発的に行うことまで自治連合会に諮る必要はないと考えている。他方で、WiFi導入やベンチ設置、あるいは利用予約システムの構築などについて意見がまとまれば、未来会議に報告し、未来会議から自治連合会に要望として諮っていただく必要がある。

## 鹿ノ台春まつり(仮称)について

・先月、実行委員会の体制について話し合った。新たに撮影・編集のリーダーを黒田さんに引き受けていただいた。今日の実行委員会では、日程と名称を決めていきたい。

**質問：**いきいきホールでもさまざまなイベントを開催されているが、春まつりはそれらのイベントとジョイントで開催することはできないのか。

**回答：**いきいきホールでは現在、オータムフェスタ(10月)、サマーコンサート(7月)、歌声サロン(6月)、クリスマスコンサート(12月)を実施している。今回の春まつりとは、出演者は一部重なっており、またいきいき広場でもフリーマーケットを行ってはいるが、いきいきホールの外で実施するイベントについては、別組織で実施していきたい。

**質問：**4月にふれあいホールで実施しているふれあい音楽祭と一緒にすることはできないのか。

**回答：**ふれあい音楽祭は来年が10回目である。11年目以降に春まつりと融合していくことは可能かもしれない。

**質問：**鹿ノ台春まつりを未来会議が主催するに際し、自治連合会が果たす役割について教えて欲しい。他の自治会イベントや委員会活動と組み合わせる形で計画すれば集客という面でも効果的なのではないか。

**回答：**未来会議の交流分科会が昨年春に実験的に「森のコンサート」を行った。その反省を踏まえ、次回はコンサートが中心ではなく、各委員会やサークルのデモンストレーション、キッチンカー、子どもイベント、花見など多数の催しの一つとしてコンサートを位置付けたお祭りを実施していきたいと考えた。準備期間が必要なため今年春の開催は見送り、来年春に実施することにした。また、次回は交流分科会ではなく未来会議全体で取り組むこととし、実行委員会の形式でやっていこうとしている。自治連合会と共に開催という形で良いが、自治連合会に新たな仕事が発生するような形にはしない。

**質問：**交流分科会はもうないのか。

**回答：**交流分科会を発展的に解消して、実行委員会を立ち上げた。

**質問：**「森のコンサート」と来年の「春まつり」は目的は同じか。

**回答：**住民の交流と街の賑わいを促進するという目的は同じである。

**回答：**鹿ノ台の委員会やサークル活動に参加を呼び掛けていく。川柳サーク

ルに知らせたところ、参加して川柳大会を実施してくれることになった。太極拳サークルにもお知らせすれば、当日デモンストレーションを行っていただけると思う。

## 鹿ノ台自治会が直面する課題と持続性のある組織・活動を目指して

・鹿ノ台の自治会は、その活発な活動により外部から高い評価を受けているが、内部的にはさまざまな課題があり、将来に向けて対応を考えていかねばならない。前回の未来会議全体会の後、この件について意見交換を行い、それを整理して資料を作成した。他にも課題や異論があるかもしれないが、議論のプロセスとして報告する。

### 背景・環境:

・自治会が抱える課題の背景には、鹿ノ台の高齢化率41.2%（今年4月）（生駒市は29.22%）、過去20年間に人口が14%減少したという現実がある。また、若い世代は、共働きの増加、習い事や塾の送迎、育友会・自治会活動などによって多忙である。加えて、生活様式や価値観が多様化しているなか、世代間で優先課題が違ってきていている。他方で、行政の委託事業が増加している（広報誌配布、公園一斎清掃、各種会合への参加など）。

### 自治会の課題:

・そうしたなか、自治会長に過大な負担が生じており、また、委員・役員のなり手不足によって一部の人が役をいくつも掛け持ちする事態が生じている。高齢化により、評議員のなり手も不足しつつあり、さらには、老々介護や高齢単身世帯が役割を負えないとして自治会を退会する事態も生じている。結果として自治会加入率が下がり、自治会費収入も減少しつつある。

### 改革の方向性:

・事態を改善するためには、自治会の目的・役割の再定義・見直しが必要である。仕事の棚卸を行い、ゼロベースでの見直しを行っていく必要がある。自治会長の仕事を副会長、評議員に分担してもらうことも必要である。活動の受け皿として委員会を増やし積極的に活用していきたいが、担い手がいるのかどうか確認する必要もある。他にも、自治会のデジタル化の推進、地域の魅力向上、行政との棲み分けなどを検討していきたい。

### 改革の具体策(例):

・現在、各自治会で内規を定めている高齢自治会員の役割減免措置を、自治連合会として「共通ルール化」する必要があるかもしれない。若い世代の転入促進のためにも、情報発信を充実させる必要がある。また、電子回覧板・LINEなどを活用して、自治会の合理化・効率化を図りたい。

・この問題については、未来会議も関心を持っているが、単位自治会と自治連合会の意向をうかがいつつ、今後どうすべきか話し合っていきたい。その一環として、自治連合会長と話し合いを行った。6月の自治連合会の会合でも、この問題についてフリーディスカッションをしてもらうことになっている。自治連合会の会長+4名の副会長+顧問と未来会議の有志で話し合いを行っていくことも検討

している。

## 鹿ノ台コミバス4月度乗車実績について(報告)

### 4月度の乗車実績:

- ・R5年4月の実証運行の日数は12日、乗車実績は累計628人、一日あたり平均52.3人である。初めて月間で一日あたりの平均乗車人数が50名を超えた。
- ・実証運行が始まった昨年8月から今年4月までの8カ月間では、運行日数が110日、利用者合計は5011人、1日あたり平均は45.6人と、前月までに比べて1日あたり0.9人増えている。実証運行は今年12月まで継続するが、評価対象となる期間は今年7月までの1年間である。
- ・コミバスに乗って、鹿ノ台オープンガーデンのチューリップ鑑賞するキャンペーン実施し、42名が参加された。実施日の乗車人数は、4月12日(雨天)で59人、14日(快晴)は100人と跳ね上がった。
- ・4月度の乗車の内訳は、午前が6割、午後が4割である。いきいきホール前での降車は、チューリップ鑑賞会の影響もあり、全体の20%を占めている。登美ヶ丘までの乗車は全体の31%と相対的に減少しており、そのうち午前が8割、午後が2割であり、午前中に用事を済ませようという生活パターンが定着している。登美ヶ丘からの乗車は全体の42%であり、そのうち午前が36%、午後が64%である。
- ・乗車を地区ごとに見ると、鹿ノ台地域内での乗車総数を100%として、東地区が20%(前月比6ポイント減)、西地区34%(同13ポイント増)、北地区35%(同2ポイント減)、南地区12%(同4ポイント減)である。前月比で西地区の割合が増えたのはチューリップ鑑賞会の影響である。
- ・本格運行に向けた目標値である収入比率30%(自治会負担分含む)を初めて若干超えることができた。
- ・利用促進策として、いそかわ協賛キャンペーンを5月末まで2か月間延長して実施してもらっている。4月の「いきいきホール前」での乗降車人数は195人、1日あたり16.3人で前月より4.9人(26.8%)増加している。
- ・6月には12日と14日、午前・午後に両日とも2便ずつ、コミバスに乗ってオープンガーデンでユリを鑑賞するキャンペーンを行う。参加者にはいきいきホールのコーヒー券をプレゼントする。

**情報:** 南桜美会で14日午前便の鑑賞会に参加する予定である。

## その他

**質問:** 生駒市が一生懸命取り組んでいる事業として、市民自治協議会の推進と100コミ(複合型コミュニティづくり)がある。100コミは来年4月から鹿ノ台東でも子どもたちも参加できる形で実施していくと考えている。今、学童保育の指導員が不足して大変だと聞いているが、どのような状況か。「放課後子ども教室にじ」とはどのような連携をしているのか。地域が学童保育に協力できることはあるか。

**回答：** 学童保育は学校のある平日も長期休業中(夏・冬・春休み)も、家庭に昼間に保護者がいない児童を預かる事業であり、年間30回しか開催しない「子どもの居場所」づくりとしての「にじ」とは性質が異なる。運営は指導員と保護者と市の三者で「学童運営協議会」を構成して行っており、教育委員会の委託事業である「にじ」とは成り立ちも異なる。学童と「にじ」の双方に通う児童については連絡を取っているが、活動としては別個で行っている。

**回答：** 学童保育に協力したいということであれば、地域の大人たちが児童の帰宅時間帯である17時以降に腕章をし、散歩をしながら見守りをしていただければ有難い。地安推と青パトが見守りや立哨をしているが、夕方に何時間もやり続けることは体力的にできないので、皆さんに協力していただければ心強い。

## 次回

日時： 2023年6月18日(日) 13:30～16:30

第I部 全体会 13:30～15:10

第II部 分科会 15:15～16:30

「東西」の構成員および幹事は13:15集合

場所： 西集会所

以上